

# 草津市教育委員会会議録

平成26年1月定例会

(1月21日開催)

草津市教育委員会

出席委員	委員長	馬場輝代
	委員	村山美智子
	委員	麻植美弥子
	委員	谷川尚己
	教育長	三木逸郎

議事参与	教育部長	加藤幹彦
	教育施設整備室長	吉川寛
	教育部副部長（学校給食担当）	梅原正雄
	教育部副部長（街道交流担当）	八杉淳
	教育部副部長（学校教育担当）	清水康行
	教育総務課長	山本美佐子
	生涯学習課長	堀田智恵子
	スポーツ保健課長	高岡良秀
	文化財保護課長	谷口智樹
	図書館長	今井知春
	学校教育課長	糠塚一彦

事務局	教育総務課副参事	松浦正樹
-----	----------	------

開会 午後 2時30分

馬場委員長 それでは、ただいまから草津市教育委員会1月定例会を開会いたします。

—————日程第1—————

馬場委員長 日程第1、「会期の決定について」であります。本日1日限りといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

馬場委員長 異議がないようですので、1月定例会は本日1日限りといたします。

—————日程第2—————

馬場委員長 次に、日程第2、「12月定例会会議録の承認について」であります。あらかじめ事務局から配付され、熟読されていると思いますが、御異議ございませんか。

各委員 — 異議なし —

馬場委員長 異議がないようですので、12月定例会会議録は承認されたものと認め、村山委員と麻植委員に、後ほど署名をお願いいたします。

—————日程第3—————

馬場委員長 次に、日程第3、「1月定例会会議録署名委員の指名について」であります。教育委員会会議規則第20条第2項の規定により、私から指名いたします。麻植委員と谷川委員をお願いいたします。

—————日程第4—————

馬場委員長

次に、日程第4、「教育長報告」をお願いいたします。

教育長

皆様、こんにちは。新年になって初めての教育委員会定例会です。本年もどうぞよろしくお願ひ申しあげます。

仕事始めの1月6日、教育長として学校長と教育委員会事務局の管理職に次のような挨拶をしました。長くなりますが紹介します。

「この1年、日常的に生起する問題の対応はもとより、掲げた目標を達成するため、各職場が新たな到達点を築かれたことに感謝します。教育を巡る状況は日々刻々と変化し、厳しい年になると思いますが、教員と職員の総合力で教育分野のさらなる向上に取り組むようお願いいたします。

私は、年度初めの4月1日にドラッカーの言葉を引用して、各段階におけるリーダーの役割の大切さに触れました。また、教育の充実を掲げる橋川市政とともに、新たな施策を連続的に打ち出したことで草津の教育が社会的に注目され、それらと相まって草津市政や教育行政に対する構成員の意識に変化が生じ、組織が活性化しつつあると述べました。

このあと、草津の教育の取組や理念が、滋賀や日本の教育施策に反映し、ひとつずつ具体化が進めばと思います。

御承知のとおり、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。前回の東京五輪で私が印象に残っているシーンは、開会式で聖火を点灯した同い年の坂井義則さんの雄姿、東洋の魔女の回転レシーブ、三波春夫さんの東京五輪音頭などですが、それとともに世界の中の日本を初めて意識したのが東京オリンピックでした。

東京五輪をライブで見えていない方でも、マラソンの第一次黄金時代にオリンピックに3回連続出場した君原健二さんが首を傾けたフォームで、苦しいときは『次の電柱まで走ろう』というテレビCMを覚えている方もいると思います。『次の電柱まで』のフレーズは、私にとっては今も気になる言葉です。君原さんは、記録更新のプレッシャーを自らに課しながら、あの電柱までという目の前の目標をクリアし続けることで、完走できることを教えてくれました。この5年2か月、走りながらではありましたが、教員と職員の力を信じ、それに依拠し、課題から逃げないことで、次の一手に取り組むことができました。『次の電柱まで』の精神で成果や達成感をイメージして、目の前の仕事に向かうことが大切であることを学びました。

話は変わりますが、十二支では午年は円の頂点にあるとされ、上昇していたものが下降に転ずるなど変動の年に当たると言われています。今年は、教育委員会制度の改変や全国学力学習状況調査の結果公表など、国の文教政策が大き

く動きます。

草津の教育が下降線を辿らないためには、基本理念である『子どもが輝く教育のまち 出会いと学びのまち』をそれぞれの職場と個人が創造性を発揮して取り組むことです。教育改革に向けての市民マラソンに、より多くの皆さんと走りたいと思います。

最後になりましたが、新しい年が皆様と御家族にとって幸多い年となることを祈念して新年の挨拶とします。」

次に、12月8日に開催された草津市PTA大会で杉並区立和田中学校元校長の藤原和博氏が講演されたことは前回の報告で触れましたが、その藤原氏から「負ける力」と題した著書をいただきました。裏表紙に、「人生や仕事で出会う人と最良の関係を築くには、はじめに『負け』を認めることで人生はひらける。また自分の弱さを前提に合気道のように勝負する生き方」と紹介しています。

藤原氏は、著書の中で教育委員会の無責任な体制をただす2段階改革や校長と教育長を民間から登用するなど、組織のハイブリッド化を述べています。さらに、教育の政治的中立性に関わって、首長選挙のときに投票用紙の下部にチェック欄を設け、「この候補者に教育政策も責任を負ってもらいたいか」と有権者に問いかけ、住民が決する選択制について触れています。それらを含め国会上程が予定されている文部科学省方針について、草津市教育委員会での丁寧な論議はもとより、市民の関心へと高める必要があります。

1月13日、教育委員の皆様には、しが県民芸術創造館で開催された平成26年度の「草津市成人の日記念式典 20歳のつどい」に御出席いただきありがとうございました。

当日の様子は朝日新聞にも掲載されましたが、この3年、草津市の成人式は実行委員が奮闘し、成人を祝うに相応しい運営がされてきました。35人の実行委員を代表して島洋輔委員長は、「私たちは、これまで一人で生きてきたのではなく、周りの人々と支え合って生きてきました。日々の生活を過ごした友人、親身になって話を聞いていただいた先生、そして私たちのことをよく理解してくれた家族。このような人たちとの出会いによって、私たちはここまで成長することができました。全ての出会いは一生の財産です。そこで生まれた絆をいつまでも大切にすることが人生をより豊かにする。」と周りの人たちへの感謝の気持ちと一期一会の大切さを述べました。

本年、草津市では1,487人（男性838人、女性649人）が成人しました。華やかな装いで埋め尽くされた会場では、誕生以降20年の出来事が映像で紹介され、参加者が食い入るように見ている姿が印象的でした。

多くの来賓を迎えた記念式典では、晴れやかに1,487人の前途を祝福し

ました。中学校を卒業して5年ぶりの同窓会でもある20歳のつどいは、恩師のビデオレターや抽選会などで、大いに盛り上がりました。

1月16日、笠縫東小学校で加藤登紀子さんのスペシャル授業があり、3年生から6年生の児童と保護者など500人近くが集いました。琵琶湖や環境のことを子どもたちに伝えたいとの思いで講師を引き受けられた加藤さんに、学校と地域が取り組んでいる「葉山川博物館」について6年生が発表しました。加藤さんは、「生きている琵琶湖」や「青いこいのぼりと白いカーネーション」「君が生まれたあの日」、そして新曲の「富士山だ」などを題材に地球環境を守る意味を話されました。授業後半の「琵琶湖就航の歌」の全員合唱では心がひとつに繋がりました。「次に、どこかで出会うことがあれば、笠縫東小学校で私の授業を受けたと声をかけてください。」と呼びかけた加藤さんの笑顔がはじけていました。学生時代から彼女の歌声に親しんできた世代として、懐かしさとともに、ある種の感慨をもって授業を参観することができました。

これまで、スペシャル授業で草津の子どもたちは多くのことを学びましたが、このほど講師をしていただいた滋賀医科大学准教授の松浦博先生から、私宛てに次のような手紙をいただきました。

「『将来の夢や希望の実現につながる』、また、『社会貢献の大切さを知る』、との御趣旨を踏まえ、『心臓の仕組みと働き』について、児童の皆さんがふだん聞く機会が少ない医学的な観点から授業をしました。授業を終えた直後は皆さんに十分理解してもらえたのか少し不安でしたが、その後の活発な質問を受け、皆さんが大変よく理解していると感じました。伊庭靖二教頭先生から送られた感想文を読ませていただき、皆さんが授業の内容をよく理解しているばかりでなく、新たな疑問や考察を展開していること、さらに『いろいろなことに努力したい』、『ほかの人のことを思いやりたい』等、私がこの授業を通じて伝えたいメッセージをしっかりと受けとめてくれたことを知り、大変感激しています。小学生の皆さんの吸収力や感受性の豊かさに触れ、教育の重要性について改めて認識した次第です。」とありがたいお手紙をいただきました。素晴らしい講師との出会いで子どもたちの夢が大きく膨らんだだけでなく、教職員が「おもてなしの心」で取り組んだことで、講師のかたがたに草津の子どもや学校の良さを知っていただけたことに思いを巡らせています。

最後に、このところ「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」を実感しています。昨日は大寒でしたが春はすぐそこまで来ています。お互い健康に留意して厳しい冬を乗り越えたいと思います。

長くなりましたが、以上で報告を終わります。

ありがとうございました。

馬場委員長

さて、先般、今教育長のお話にもありましたけれども1月13日には成人の日記念式典が開催されました。それに参加されての御感想や御意見、また話にもありましたスペシャル授業を参観された御感想など、そのほか教育全般に関する事項で御所感などがございましたらお願いいたします。

村山委員さん、お願いします。

村山委員

私も1月13日の成人式に出席させていただきました。当日は冷たい雨や時折雪もちらつくような本当に寒い日でしたけれども、新成人の皆さんは本当にはじけるような笑顔にあふれておられて、私も大変すがすがしい気持ちになりました。

私ごとなんですけれども、現在中学3年生の息子がおりまして、受験の準備の真ただ中です。親としても初めてのことで何かとわからないことも多い中、先生方には本当にきめ細かな御指導をいただき、本当に感謝でいっぱいです。納得のいく志望校選びができるように、いつも生徒自身の気持ちを尊重しながら向かい合ってくださいっております。志願書等の作成も丁寧に見てください、冬休み中の急なお願いにもすぐに対応してくださいました。息子のクラスでは、手づくりの大きな絵馬を先生が持ってきてくださって、クラスみんなで言葉を書き込んで教室に飾ったそうです。1人じゃない、みんなで一緒に頑張ろうという気概のような温かい雰囲気をつくってくださっていることは本当にありがたいです。

この成人式のときにも、今いらっしゃる馬場委員長と控室でお話をしているときに、ここまで終わってようやく無事に送り出した気がするとおっしゃっていたのがすごく印象に残っております。草津という地元の繭の中で育ってきた子どもたちが高校からその先、また一つひとつ新しい世界に出ていく中で、人生の節目にもう一度みんな顔そろえてお互いにこれからの頑張りを誓いあって、またそれぞれの道に戻っていく、そういう足取りを見届けるまで先生方はずっと気にかけて遠くから見守ってくださっているんだなって改めて感じて、何かとても胸が熱くなりました。

一人の親として感謝するとともに、そのような先生方と協力してもっともっと草津の教育をよりよくできるように、巣立った子どもたちにとってはいつまでも自慢の故郷でいられるように努力していかなければいけないなという気持ちを新たにした年明けでした。

馬場委員長

ありがとうございました。

ほかありませんか。

麻植委員。

私からは、三木教育長からもありましたが、1月16日に笠縫東小学校のスペシャル授業を見学させていただいたことについて、お話をさせていただこうと思います。

私、この笠縫東小学校では昨年の7月27日、28日に笠縫東まちづくり協議会と文化教育体育部会が開催されました地域協働合校のハンター東っ子という取組の中で、箏の演奏と体験の授業をさせていただきました。体験のほうでは、箏を松原中学校から借りてきていただきまして、子どもたちにワークショップしてもらいました。なぜ、こんな話を出しましたかといいますと、今月のスペシャル授業に行きました際に、地元の方々が駐車場の案内だとか、いろんなところでお手伝いに入っておられ、そのときに声をかけてくださりまして、昨年の7月の話をしてくださいました。本当に、その地域、学区を長い目でみんなが関わり続けることによって、また新しい展開が生まれ、頑張れるんだな、人とのつながりも生まれるんだなど。それでちょっと熱い思いを感じて、始まるまでにひとつすごい経験と嬉しい思いをさせてもらいました。

中身について、ちょっとお話しします。スペシャル授業の講師の加藤登紀子さんとは、本当に不思議な縁がありまして、ちょうど市制50周年のときだったのですけども、私は市の花のアオバナに曲をつけてもらって、演奏しました。それを取材していただいた写真が載っている京都新聞の紙面の横に、もっと大きく加藤登紀子さんがカラー版でぼんと載っておられた記事があったんです。このようなことがありましたというのを、「加藤さんとのつながりがあったのです。」という話をちょっとさせてもらえたのは、これは個人的に嬉しかったことです。

まず、子どもたちが葉山川学習を、ビデオを写しながら発表をしてくれました。加藤登紀子さんは、環境学習ということで、地球というのは、1メートルの球体と考えると真水はどれぐらいかなということから話されて、たったスプーン1杯しか真水はないんだよというお話をされて、自然環境を守る大切さを語っておられたのが印象的でした。

もう1つ心に残った言葉は、加藤さんのお母様は、「算数とか、国語とかを勉強するというよりは、人の心を豊かにするには音楽、美術、体育などがとても大事だから、それを頑張りなさい」と言われたというのを子どもたちの前でおっしゃっていました。人の心を豊かにする情操教育、これは道徳教育にもつながってきますし、また、思いやりの心も育ちます。いじめが、今、非常に問題になっているときに、これはとても大事なことだと改めて認識しました。

今、全国学力テストが話題に上がっておりますが、私は常々文化に身を置いているものとして、情操教育も大切にしなければならないと思っているのです



が、本当にどちらも大事です。ですので、バランスをとっていくこと、これが求められていることなのではないかなというふうに感じました。

もう1点、ほかほかのニュースです。本日1月21日矢倉小学校でありましたスペシャル授業なんですけども、これは県のほうのスペシャル授業です。滋賀県教育委員会から道徳教育推進のための著名人特別非常勤講師ということで、池坊の次期家元の池坊由紀さんが来られていました。

私も日本の伝統文化という同じフィールドにおりますので、勉強をさせてもらえることもあり、いろいろ感じさせてもらうこともあるだろうと思いましたので見学させていただきました。

まず、生け花ということについてお話されて、「花、これはフラワーではなく、木も枝もそして草花も全て含むんですよ。」というお話の中から、「花にはそれぞれ個性があります、良さがあります。それがお互い引き立て合って調和します。」ということを何度もお話されていまして。これは子どもたちにもすごいメッセージだなと思います。みんな同じではないけども、それぞれみんなの良さを持っている。良さを引き立て合いながら調和していく。これがとても大事なことなんだなと思い、この言葉を皆さんに伝えたいなと思いました。

それとあと生け花は足で生けるとおっしゃいました。これは本当に足で生けるのではなくて、その木が生えている、花が咲いている現場に直接足を運んでそこで学ぶ、それを今後は自分が生けるときに、無理に曲げるのではなく、それを生かしながら生けることが大事です、というふうにおっしゃっています。

授業が終わられてからもお話したのですが、「子どもたちに伝える、人としても伝えることの中で、生のそのものの瞬間が持つ力というのはすごいですよね。例えばDVDで見たり、CDで聞いたりとかではなくて、直接見る、聞くというのはすごい感動を与えますよね。」ということもお話をしました。

それで私も学校にいろいろ足を運ばせてもらって先生の頑張りを直接見させてもらって、本当に思うのは、自分がその場所に寄せてもらって、見させてもらって、それを自分の中で感じたものをまたこういう場所で話すことができる。そういう形をとっていただいているこの草津の教育委員会というのは本当にありがたいなと思いました。

以上です。

馬場委員長

ありがとうございました。

谷川委員、お願いします。

谷川委員

手前みそな、ほかほかニュースから。本日は2時間目、3時間目と新堂中学校の保健の授業で、薬教育というのをやってきました。現在の私の研究テーマ

でもありますので、薬教育をこれからあちこち広めていきたいと思うんですけど、草津中学校は既にさせていただいたんですけども、このテーマは何かというと、「自己責任、自己管理で薬を飲む」ということを伝えています。今は、どこでも薬買えますからね。

そういう力を身につけさせると、薬物へ走らない、ということにもつながりますし、ほかのことも全て自己管理、自己責任という力を身につけさせることができるんじゃないかいうことで授業をさせてもらっています。

27日には、山田小学校の保健指導をやらせてもらって、笠縫小学校もやって松原中学校というふうに松原中学校区は全てやりたいなというようなところで動いておりますので、また、時間があればどんな授業をしているのか、のぞきに来ていただけたらと思います。

あと、作文がここに載ってまして、草津の子の優秀作品があるというので、見せてもらったんですけども、犬から命の大切さいうことを書いた命のボタン、それから自分の居場所があるという、そのことを書いている作文と私の宝物という作文の2点を見せていただいたんですけども、やっぱり本を読むというのは心を育てるんだなというふうに思いました。テレビゲームでは身につかない、本当に良いものをつかんでくれているんだなというふうに思います。そういったことから含めて、伊達さんの記事も載っていたので大変ありがたい話だなというふうに思いました。

あと、もう1つ、長くなりますけれども、常盤小学校のいじめゼロ、悪口ゼロ、けんかゼロ、子どもたちにはそういうことを伝えることはいいことですが、実際問題、私が言うまでもないと思いますけれども、3・4年というのは、けんかは多分すると思うんです。そのときにどうするのかという対応はどこまでやっておられるのかいうことですね。そこでやっぱり傍観者にならないということを引きちっと押さえておくと、いじめのときにも傍観者にならないのではないかなと。いじめの話が麻植さんされたので、そこに絡めてお話をさせていただきました。

以上です。

馬場委員長

ありがとうございました。

それでは、私のほうからも、成人式のことについて少しお話をさせていただきます。

成人式の日、来賓や私たち主催者がステージ上に上がらせてもらったんですが、前のほうに座っていた新成人が来賓の挨拶のたびに、はいとか一々反応してはるんです。なかなか元気な声で反応してはったんですが、それを聞いていて私はつくづくこの人たちは本当に成人式を楽しみにしてはったんやなど、多分

全部の子が草津には住んでないと思うし、いろんなところからもこの日を楽しみにやってきましたんやなというふうに見せてもらいました。

輝く顔をして、すごい格好して迎えた成人式やったんですが、その成人式を支える人たちがたくさん周りにいて、当日はすごい寒くてほんまに雪がちらつくほどだったんですが、外には事務局の方たちが本当にわからないような形で支えてくださっている姿があったり、それから保護者らしき人もちらほら見たりということで、新しく新成人にならった人たちがこれから先、本当に真つすぐに進んでくれることを願うばかりやなと思って見せてもらいました。

学校の教師としては、これでやっとな新成人にならったら、これでひとり立ちかというふうにするので、そういう形で考え深く皆さんの顔を見せてもらいました。

以上で、「教育長報告」につきましては、終わらせていただきます。

どうぞ。

麻植委員

先ほど伝えたいと思っていたところがもう1つありました。

2校、今、言わせてもらった中で、矢倉小学校は道徳がキーワードなんですね。道徳をキーワードにして、縦割りで考えられるのではなくて、授業でとかで、あらゆる機会を捉えて学校の先生方が一丸となって取り組まれているんですね、これは終わった後、校長先生ともしゃべってきたことです。

これは本当に笠縫東小学校のこの環境学習でも全く同じで、本当に地域の方たちの応援もこれには欠かせないですし、とにかく草津市内の各小学校が本当にキーワードをもとにいろんな場面、いろんな授業だけではなくて、いろんな地域のかたがたの応援も一緒になって特色を出されているというのは本当に素晴らしいなと思いましたので、その「キーワードで1つになっている」をちょっとお伝えしたかったんです。

馬場委員長

ありがとうございました。

それでは、これで終わらせていただきまして、

—————日程第5—————

馬場委員長

次に、日程第5、「報告事項」に入りたいと思います。

事務局より報告をお願いいたします。

スポーツ保健課長

スポーツ保健課の高岡でございます。報告事項の1点目、工事監査の結果に

つきまして御報告を申し上げます。

資料のほうは、2ページを御覧ください。

下笠町の総合体育館でございますが、耐震補強・大規模改修工事を実施しております、その工事監査が平成24年11月12日に行われまして、12月25日に監査結果の報告がありましたことから、その内容を報告するものでございます。

資料のほう、3ページをお願いいたします。

工事監査の技術調査につきましては、協同組合総合技術士連合の技術士の方の調査をいただきまして、11月12日、市役所の601の会議室と工事現場のほうで代表監査委員と議会選出の監査委員の同席のもと、また事務局の局長と書記の2名の事務局職員のもとで行われたものでございます。

4ページでございますが、工事概要につきましては、教育委員会から御説明を申しあげまして、工事の担当の建設課の監督員と請負業者、建築、電気設備、機械のそれぞれの工事と工事監理業務の業者の同席のもとで行われました。

5ページでございますが、工事概要は5ページに示されているとおりでございます、6番の工期が25年の6月26日から26年3月25日までになっておりまして、工事の内容、7ページでございますが、柱の増し打ち補強等の耐震補強工事、そして1階、2階の諸室の改修の大規模改修工事、内装改修と外壁のひび割れ等の塗装仕上げ等の外壁工事ということで、実施しております、この時点での工事の進捗率につきましては、21.4%という出来高でございます。

6番から書類調査における所見ということで、総括的所見のほうにつきましては、工事環境書類は十分に整理がされており、当工事の計画調査・設定・仕様・積算・契約・施工管理等々吟味が行われ、その結果、総括的に良好だったということで御判断いただいております。

計画についてでございますが、過去の耐震診断の結果で、中央部分の南北方向の耐震性が不足しておりまして、その補強計画に基づきまして、工事を実施しているものでございます。

設計につきましては、図面の整備状況、必要な検討がなされていると判断していただいております。

それから、積算についてですが、積算とその根拠あるいは単価とその根拠につきましては、それぞれ基準に基づきまして、決定なり採用をしております、設計価格につきましては、これらを積み上げて通常の方法から妥当であるというようなことで御判断いただいております。けれども、最後に書いていただいております市場価格が反映される手法を研究しておくことという御指摘がございましたので、この点につきましては管理課と今後調整を図ってまいりたいと

思っております。

7ページでございますが、契約の状況ですが、入札につきましては6社の指名競争入札で落札率は88%となっております。

契約書類一式、それから諸届けと保険関係の書類につきましてはよく整理されているものと判断をいただいております。

それから、技術資格者についてもしっかりと配置し、問題となるところはなかったということでございます。

施工につきましては、総合施工計画、各工事の施工要領書が作成、整理されておりまして、施工計画書は具体的な施工方法を示すものでございまして、それぞれの方針が反映されているということで、その他の一般の工事等と比較して妥当な方針であるということで、御判断をいただいております。

それから、今後はさらにそれらの指導について、今後も指導を徹底されるというふうなことでございます。

それから、材料試験についても実施され、所定の手続等がなされているというところでございます。

施工管理資料の整備状況につきまして、施工管理につきましては毎週定例の会議で指示が出されておりまして、それに基づきます資料も的確に整備がされていると御判断をいただいております。

8ページでございますが、施工報告書の充実度でございますが、よく整備がされているということでございましたが、写真につきましては先ほど申しあげましたように工事の進捗がまだ進んでおらないような状況の時期でございましたので、今後の進捗に合わせて写真等の撮影もしっかりやって、意図を明確にした写真の撮影、それから整備というものをしてくださいというような御指摘でございました。

それから、安全衛生管理や監督員記録の整備状況につきましても、同じ動向であるというふうなことで報告をいただいております。

以上、簡単でございますが、報告とさせていただきます。

馬場委員長

ありがとうございました。

山本課長お願いいたします。

教育総務課長

報告事項2、寄付受け入れ報告につきまして、教育総務課の山本が御報告申しあげます。

9ページを御覧ください。

最初に、伊達直子様からですが、渋川小学校に対して、児童図書をお寄せいただいております。

また、常盤幼稚園PTA様からは、常盤幼稚園にタンブリンを、山田幼稚園PTA様からは、山田幼稚園にウェイブバランス平均台を御寄付いただいておりますので、御報告申しあげます。

馬場委員長

ありがとうございました。

ただいまの報告事項につきまして御質問等はございませんか。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

ないようですので、以上をもちまして本日の議事は終了となりますが、ほかにごございませんか。

生涯学習課長

生涯学習課の堀田ですが、お手元にお配りしています黄色いチラシで俳句入門講座というのがございますので、御覧いただきたいと思います。

俳句初心者を対象に2月19日から3月17日までのうちの4日間を連続講座として開催させていただきます。どうぞ御承知いただきますようお願いいたします。

以上です。

馬場委員長

ほかに。

スポーツ保健課長

スポーツ保健課の高岡でございます。お手元の資料でございますが、第59回になります、草津市駅伝競走大会の御案内でございます。期日につきましては平成26年の2月16日、9時半からのスタートになっております。場所のほうは立命館大学のびわこくさつキャンパスで、中学生男子の部、女子の部、地域大会の部、一般の部、小学生の部という構成で実施されるものでございます。

受け付けのほうは既に昨年12月18日から1月の22日までで募集をさせていただきます。寒い時期ではございますが、お時間が許せば当日会場にお越しいただければと思ひ御案内申しあげます。よろしく申し上げます。

馬場委員長

ありがとうございました。

ほかにごございませんか。

各委員

— 特になし —

馬場委員長

それでは、これをもちまして、1月の定例会を終わらせていただきます。  
次回は2月20日（木）、午後2時30分から定例会を開催する予定ですので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

閉会 午後 3時05分